

平成29年度  
次代の文化を創造する新進芸術家育成事業 

新進バレエダンサー育成並びに  
バレエ団運営の基盤整備及び制作人材育成

報告書



## ごあいさつ

日本バレエ団連盟は、昨年9月で法人設立から3年が経過いたしました。設立の翌年度より、文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として、海外優秀指導者による新進バレエダンサーへのマスタークラス開催と、バレエ団運営における基盤整備に向けての調査と制作人材研修を2つの大きな軸とし、ダンサーと制作運営の両面から人材育成を継続して行っています。

3度目となる29年度の調査では、海外のバレエ団運営の先進事例と共に、バレエダンサーの社会的地位について、国内バレエ団へのアンケートと海外バレエ団所属の日本人ダンサーへのインタビューを行い、その就労実態を比較しました。世界のバレエ界における日本人ダンサーの活躍ぶりは、近年ますます世間の耳目を集めるところとなっておりますが、それはとりもなおさず国内において芸術活動に専心できない状況に対し、ダンサーがそのキャリアの初めから海外に活躍の場を求めた結果であり、わが国のバレエ界にとっては必ずしも喜べる状況ではないことを意味します。

ダンサーの地位向上のために、国内のバレエ団の経営基盤を強めるには、今後どのような具体的な取り組みが必要なのか、本報告書をもとに議論を深めていくことができると考えております。

「石の上にも3年」のことわざがありますが、解決すべき課題は多く、冷たい石は3年座っただけで温められるものではありません。今後とも日本バレエ界発展のために努力を続けてまいる所存ですので、関係各位の一層のお力添え、ご指導を賜りたく、よろしく願い申し上げます。

最後になりましたが、本事業にご理解を賜り、快くご協力をくださいました皆様に、深く御礼申し上げます。

2018年3月

一般社団法人 日本バレエ団連盟

---

# 目次

---

## ● ごあいさつ

## ● 事業概要

## ● バレエ団のマネジメントに関する調査報告

### I バレエダンサーの社会的地位

- 1 調査の概要と目的……7
- 2 バレエダンサーを取り巻く労働環境……8
  - 2-1 芸術家の地位に関する動向……8
  - 2-2 国内バレエ団における就労実態調査……8
  - 2-3 海外バレエ団所属邦人ダンサーへの聞き取り調査……28
- 3 英国関連団体訪問調査報告……49
  - 3-1 エクイティ……49
  - 3-2 ダンサーズ・キャリア・ディベロプメント……56

### II バレエ団の社会的意義

- 1 調査の概要と目的……69
- 2 英国バレエ団の事例より……70
  - 2-1 ロイヤル・オペラ・ハウス……70
  - 2-2 イングリッシュ・ナショナル・バレエ……84

### III デジタル・マーケティング・ブートキャンプ参加報告

- 1 概要……97
- 2 聴講内容の報告……98

### IV カナダにおけるバレエ団運営の事例調査

- 1 調査の概要……141
- 2 カナダにおけるバレエ団運営……142
  - 2-1 概況……142
  - 2-2 バレエ団への聞き取り調査……145
    - 2-2-1 カナダ・ナショナル・バレエ……145
    - 2-2-2 レ・グラン・バレエ・カナディアン……158
- 3 カナダ・カウンシル・フォー・ジ・アーツ……164
  - 3-1 助成プログラムの概要……164
  - 3-2 聞き取り調査……169
- 4 ダンスプロデューサーへの聞き取り調査……179

## ● マスタークラス及びマネジメントセミナー実施報告

- 1 マスタークラス……189
- 2 マネジメントセミナー……190

---

# 平成29年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

---

## 事業概要

### 1. 事業名

新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及び制作人材育成

### 2. 事業の趣旨・目的

習い事文化が広く根付いている我が国において、バレエは人気の高い習い事であり、その広い裾野から優秀なダンサーが育っている一方で、その活動の場であるべきバレエ団への一般の理解、支援は十分とは言えず、プロフェッショナルな活動が促進する環境が整っているとは言いがたい。我が国のバレエ振興は、ながく民間個人の努力にゆだねられていたため、総合芸術であるバレエのあるべき姿を求める上で、そこにおのずと限界が生じていたと言える。

本事業は、海外優秀指導者による新進バレエダンサーに向けたマスタークラス開催と、バレエ団運営の基盤を整備する上で参考となる海外の事例調査、制作人材への研修を2つの大きな軸とし、ダンサーと制作運営という両面から舞台芸術を支える人材の育成を行う。

新進ダンサーがプロフェッショナルとして活動を行うにあたって必要な技術と能力を習得すると共に、日本のバレエ団における運営スタッフがバレエ団のマネジメントに係るノウハウを広く海外から吸収することで、世界に通用する新進芸術家の育成とバレエ界の基盤整備を行うのが目的である。プロのバレエ団を統括する全国組織である当連盟としては、本事業を実施することで、日本のバレエ界全体の芸術水準の向上とさらなる発展に寄与することを目的とする。

### 3. 事業の内容

#### (1) マスタークラスの実施

指導：ローラン・フォーゲル、パトリック・アルマン

対象：井上バレエ団、東京バレエ団、東京シティ・バレエ団、法村友井バレエ団（実施順）

## (2) バレエ団運営に関するマネジメント調査

### ■ 調査テーマ及び調査対象

#### ① バレエダンサーの社会的地位

エクイティ (英国 ロンドン)

ダンサーズ・キャリア・ディベロプメント (英国 ロンドン)

#### ② バレエ団の社会的意義

ロイヤル・オペラ・ハウス (英国 エセックス)

イングリッシュ・ナショナル・バレエ (英国 ロンドン)

#### ③ デジタル・マーケティング

デジタル・マーケティング・ブートキャンプ (米国 ニューヨーク)

#### ④ カナダにおけるバレエ団の運営実態と助成制度

カナダ・ナショナル・バレエ (カナダ トロント)

レ・グラン・バレエ・カナディアン (カナダ モントリオール)

カナダ・カウンシル・フォー・ジ・アーツ (カナダ オタワ)

ナショナル・アーツ・センター (カナダ オタワ)

### ■ 調査会議委員

安達悦子 (東京シティ・バレエ団)

岩永智博 (東京バレエ団)

小山久美 (スターダンサーズ・バレエ団)

黒澤 希 (牧阿佐美バレエ団)

諸角佳津美 (井上バレエ団)

小林恵美子 (日本バレエ団連盟)

尾崎瑠衣

平野綾那

## (3) マネジメントセミナー

テーマ：芸術団体におけるファンドレイジング

講師：公益財団法人東京交響楽団 専務理事・楽団長 大野順二氏